

# 札幌市を取り巻く状況

札幌市は2022年に市制100年という大きな節目を迎えました。これは大正11年(1922年)の札幌市の写真です。この年、札幌は市としてのスタートをきりました。

当時の札幌市の人口は約12万人だったんだ。この100年で人口は約15倍も増え、北海道を代表する大都市になったんだね。

〈資料〉札幌市公文書館所蔵

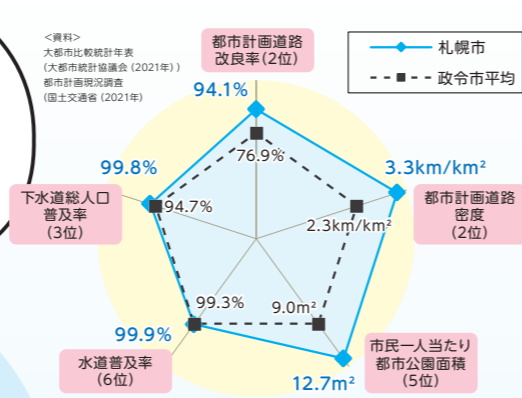


〈資料〉札幌市交通局所蔵



〈資料〉札幌市公文書館所蔵

その後、昭和47年(1972年)の冬季オリンピックを契機に、競技施設だけでなく、地下鉄や地下街などが次々と整備され、まちが大きく発展しました。



これまでのまちづくりの取組の結果、道路などのインフラは、他の政令市と比較しても高い水準にあるんだね!

また、市民アンケートでは96%の市民が「札幌の街が好き」と回答しています。(令和4年度第3回市民意識調査より)

地下鉄やJRなどの公共交通機関が整備されていること、緑が多く自然豊かな点が好きで理由として挙げられているんだね!

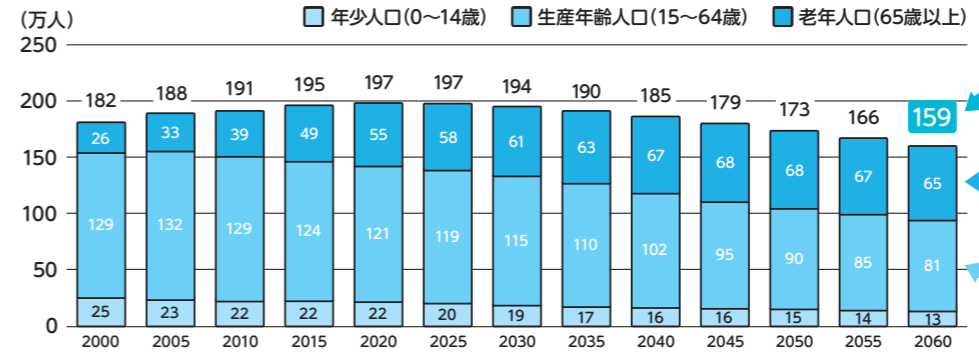
これまで社会資本整備の推進などのまちづくりを進めてきた結果、大きく発展を遂げてきた札幌のまちだけど、様々な課題も抱えているんだ。

次のページでは札幌市が抱えている課題を紹介するよ!

## 人口減少の局面へ

札幌市は、これまでほぼ一貫して人口増加を続け令和5年(2023年)10月1日時点の人口は197万人となっていますが、令和42年(2060年)には159万人まで人口が減少することが見込まれています。

### 札幌市の人口構造



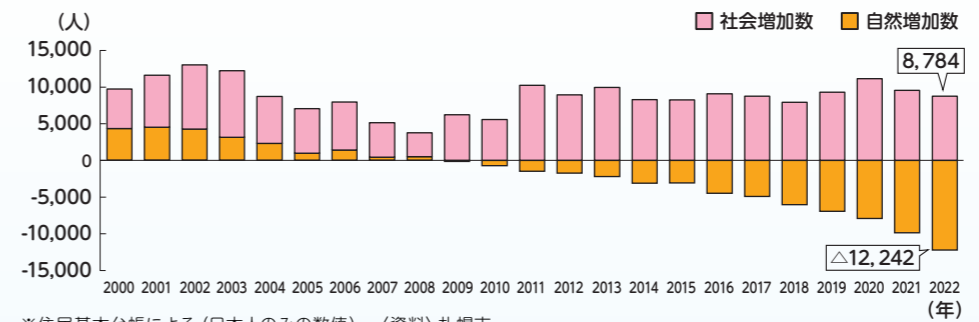
人口が約40万人減

人口の約4割が65歳以上の高齢者に

生産年齢人口は、人口の約5割に

※2000~2010の総人口には年齢「不詳」を含む。2015、2020は「不詳補完値」による。〈資料〉総務省「国勢調査」、札幌市

### 札幌市の人口動態



社会増加 転入者数>転出者数  
自然減少 死亡者数>出生数

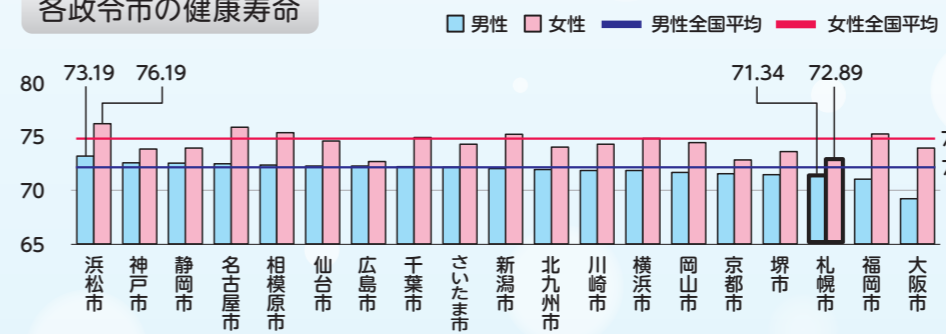
社会増加数が自然減少数を下回り、人口減少局面を迎えているんだね。

※住民基本台帳による(日本人のみの数値) 〈資料〉札幌市

## 平均寿命と健康寿命

札幌市の平均寿命は、2020年時点で男性が81.31歳、女性が87.40歳と年々延びてきています。健康寿命については、男性が71.34歳、女性が72.89歳と平均寿命と比較し男性が9.97年、女性が14.51年短く、また全国平均との比較でも低い水準にあり、健康寿命を平均寿命に近づけていく必要があります。

### 各政令市の健康寿命



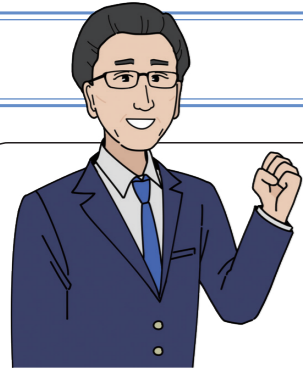
政令市で比較しても、札幌は健康寿命が低い水準にあるんだね。

〈資料〉厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究(2016~2018年度)」

■平均寿命:人が生存する平均年数 ■健康寿命:健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

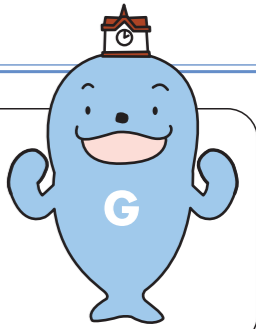
このような課題を踏まえつつ、誰もが安心して暮らし続けることができるまちを維持しながら、都市としての魅力をさらに高め、将来の世代に住み良いまちを引き継いでいくため、5年間のまちづくりの取組をまとめた「アクションプラン2023」を作成しました。

# これからの札幌市のまちづくり



魅力的なこのまちを次の世代に引き継いでいくためには、持続可能なまちづくりを進めていながら、都市として価値を創造し、高めていくことが重要です。そこでアクションプラン2023では、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンで設定した「5つの分野横断プロジェクト」に関係が深い事業を関連付けて施策を実施することで、施政方針に掲げる2つの「未来のさっぽろ」の実現を目指します。

アクションプラン2023は、第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンで掲げた目指すべき都市像やまちづくりの重要概念を踏まえて、まちづくりの取組を進めることで、2つの「未来のさっぽろ」だけではなく、「目指すべき都市像」の実現も目指していくんだね。



誰もが安心して暮らし  
生涯現役として輝き続ける街

2つの「未来のさっぽろ」

世界都市としての魅力と  
活力を創造し続ける街

目指すべき都市像

「ひと」「ゆき」「みどり」の織りなす輝きが、  
豊かな暮らしと新たな価値を創る持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念

ユニバーサル（共生）

誰もが互いにその個性や能力を認め合い、  
多様性が強みとなる社会の実現

ウェルネス（健康）

誰もが生涯健康で、学び、  
自分らしく活躍できる社会の実現

スマート（快適・先端）

誰もが先端技術などにより快適に暮らし、  
新たな価値の創出に挑戦できる社会の実現

## アクションプラン2023

分野横断的に取り組む施策（プロジェクト）

ユニバーサル（共生）  
プロジェクト

ウェルネス（健康）  
プロジェクト

スマート（快適・先端）  
プロジェクト①  
（スマートシティ、人材・産業）

スマート（快適・先端）  
プロジェクト②  
（ゼロカーボン、雪）

人口減少緩和  
プロジェクト

8つのまちづくりの分野ごとの事業

生活・  
暮らし

地 域

子ども・  
若者

安全・安心

経 済

スポーツ・  
文化

環 境

都市空間

行財政運営の取組 まちづくりの取組を着実に、かつ、より効果的に推進していくための取組

①計画事業数  
599事業

②計画事業費  
1兆7,854億円

③計画期間  
2023年度～  
2027年度

次のページから、5つの分野横断プロジェクトごとに、計画期間内に取り組む主な事業などを紹介するよ！